

令和4年度

恩納村地域づくり支援助成事業団体の活動報告

恩納村では、主体的な地域課題の解決と地域が主役のむらづくりに向けた意識の高揚と参画を図り、協働によるむらづくりを推進することを目的とした「恩納村地域づくり支援助成事業」を実施しています。

恩納村において自治会やNPO、ボランティア団体などが実施する主体的、公益的な地域活動を支援し、令和4年度は行政区の自主防災組織に関する事業5団体、村内民間団体の事業4団体がさまざまな活動に取り組みました。

活動報告

① 高齢者のためのヘアメイク＆撮影会、写真展



団体名： bonとショウガツ団

7日間、恩納村文化情報センター1Fロビーにて、写真を展示しました。図書館や、学習室などを利用される、村内外のさまざまな方々に見ていただくことができました。

[感想ノート]

- 一人ひとりの人柄を感じられる写真で、皆さん嬉しそうですね!
- みんな写真を撮られるときに生き生きとした表情をされているのが印象的でした。
- 自分のおばあちゃんに会いたくなりました。しわのひとつひとつまで優しい写真たちでした。
- 両親のポートレートも作りたいと思いました。
- じっくりと時を重ねてきた人生の凄みが写真から伝わってきました。見に来ることができてよかったです。

団体名： bonとショウガツ団

事業概要：コロナ禍において、人と交流する機会が減少している高齢者に、ヘアメイク＆撮影会の機会を提供し、素敵になることにより強い喜びを生み出し、生きがいにつながります。その後開催する写真展を観覧する高齢者にとっても、生き生きとした同世代の姿に刺激を受け、自分も何か新しいことに挑戦してみようという前向きな気持ちや、外に出たくなる気力が湧き出て、高齢者の活力を上げる。

②恩納村子ども食堂事業



団体名：NPOオーシャン沖縄

当NPOは毎週金曜日に集まり、村内の各企業から協賛していただいたフードロス食材と、足りない分を補う予算を利用し就学援助児童支援NPO法人恩納村エンカレッジにお弁当を20食から30食お届けすることができた。それらのお弁当は対象の幼児だけではなく支援が必要な父兄にも配布することができた。

また、本年度内での活動としては、RBCラジオ、青春の旅立ちとのコラボイベントや、独自で開催したZEROハンガー沖縄子ども食堂のDX化:他業種連携で美味しいを届けると題し沖縄県子供生活福祉部子ども未来課や、沖縄県母子寡婦福祉連合会、交えてのシンポジウムを開催。また、ハレクラニ沖縄とのコラボレーション企画では、一流ホテルマンから学ぶホテルの仕事を体験するイベントも会した。

団体名：NPOオーシャン沖縄

事業概要：貧困家庭の子どもにも学ぶ機会を平等に与えるという目的で無償の塾があり、約100名の要支援の子どもたちが通塾しているが食事の支援はできていない。通塾している子どもたちはお腹を空かせながら勉強に励んでいる現状である。その状況を解決するために村内のホテルなどから出る廃棄予定の食材を無償で提供してもらい、できるだけ地元の食材を使い弁当を作って配布することで、どんな家庭環境でも平等に勉強する環境を整える。

③ 地域コミュニティ活性化と読書活動推進のためのお話会

【活動内容】

R4.4 開設7周年記念 お話会

R4.6 平和学習朗読会

R4.8 怖いお話

R4.12 クリスマスお話会

R5.2 人形劇団ひとみ座公演

R5.2 民族歌舞団花こま公演



団体名：朗読サークルぼーの

【人形劇団ひとみ座公演活動報告】※活動報告抜粋

1948年創立の歴史ある人形劇団「ひとみ座」の公演は役者の技術力の高さ、舞台構成、美術演出、どれも素晴らしいものでした。子ども向けというイメージの強い人形劇ですが、作品内容の面白さ含め、大人が鑑賞するにも十分価値、大変好評を得ることができました。村内では、親子で楽しめる演劇鑑賞の機会が少ない上に、コロナ禍においては、さらに生の芸術に触れる体験も減っていました。その分、期待も大きく前売チケット販売も好評な上、問い合わせも多く、当日券購入者も100名を超えました。

アンケート回収も93枚と高く「また是非見たい！」「毎年やって欲しい！」

「子どもと一緒に楽しめた」「とてもおもしろかった！」等々、多くの嬉しい声が寄せられました。

団体名：朗読サークルぼーの

事業概要：朗読や観劇鑑賞の機会を提供することで、子どもから大人まで楽しめる表現活動や読書活動の活性化に繋げて、公共図書館の利用促進、読書活動活性化に寄与する。
また、人材育成の面からも将来のAI社会において、人間性を活かした創造性や表現能力を培う必要があるため、自己表現の楽しさを知り、コミュニケーション力を身につけて『生きる力、地域愛』に繋げる。

④恩納村海域での溺水者救援のための蘇生能力向上を図る事業



団体名： 一社）恩納村マリンレジャー協会

恩納村地域づくり支援事業助成金の交付決定の通知を受けてCPR(溺水者救命)トレーニング用機器を発注した。

講習会募集については、恩納村マリンレジャー協会会員向けにメールにて講習会開催を告知した。また恩納村内で活動しているが、恩納村マリンレジャー協会に所属していない事業者にも連絡した。リゾートホテルのマリンレジャー担当者へは、恩納村マリンレジャー協会会長から恩納村観光協会に連絡して、告知して頂きました。結果、協会会員が20名の参加がありましたが、協会から情報発信の限界を感じた。恩納村役場にて、検討中のローカル認証制度を早期に確立して頂きたい。

恩納村マリンレジャー協会理事会として、協会会員の溺水者救命および潜水障害救助の能力について明記しているが、より確実にするためには是非とも恩納村役場の支援をお願いしたいと存じます。2023年4月以降に実施予定のCPR救命講習会および溺水者救命トレーニングには、20名以上の参加希望が寄せられています。

今回、恩納村地域づくり支援事業で購入することのできた救命資機材を有効に活用できることは、協会として心強く感じています。

団体名： 一社）恩納村マリンレジャー協会

事業概要：マリンレジャーなどでの事故を減らすことを目的として本協会が毎年安全講習を実施しており、協会会員以外にも本村でマリンレジャーを営む事業者も対象としている。心肺蘇生法に使うマネキン等を購入して、安全講習を実施し、より充実した安全講習を目指す。そのことによって、安全安心が担保されたマリンレジャー商品を提供でき、恩納村の観光に寄与する。

⑤ 自主防災組織に関する事業

【名嘉真行政区、安富祖行政区、喜瀬武原行政区、瀬良垣行政区、塩屋行政区】



災害時には、公助だけを待つのではなく、共助の体制である自主防災組織が機能することが重要であり、この機能強化を図ることで、災害による被害を抑え、役場(公助)と行政区(共助)の連携にもつながった。また、防災を地域で考えていくことで、交流が生まれコミュニティも活性化された。

団体名：名嘉真行政区、安富祖行政区、喜瀬武原行政区、瀬良垣行政区、塩屋行政区

事業概要：災害時には、公助だけを待つのではなく、共助の体制である自主防災組織が機能することが重要である。この機能強化を図ることで、災害による被害を抑え、役場(公助)と区(共助)の連携にもつながる。また、防災を地域で考えていくことで、交流が生まれコミュニティも活性化される。